

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	鼠径ヘルニア根治術における腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術の有効性の検討		
2. 対象患者	1997年4月から2019年12月まで当科において鼠径ヘルニア根治術を行った1334例		
3. 対象となる期間	1997年4月1日 ~ 2019年12月31日		
4. 実施診療科等	弘前大学小児外科		
5. 研究責任者	氏名	平林 健	所属 弘前大学小児外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	小児鼠径ヘルニアに腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術が導入されて、10年前後経過しました。しかしながら、通常のポツ手術に対して明らかな優位性は示されていません。当科における20年以上の手術成績を比較し、優位性の有無に検討を加え、より良い小児鼠径ヘルニア治療法の確立を図りたいと考えます。		
8. 研究の目的	1997年4月から2019年12月まで当科において鼠径ヘルニア根治術を行った1334例の術後成績(合併症の有無、異時性対側発症の有無、最初の有無)を検討し、通常のポツ手術と腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術の成績を比較し、それぞれの優位点並びにマイナス面に対して検討を加えます。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	診療録を利用し、性別・手術時年齢・手術術式と術後の再発ならびに異時性の対側発症の有無をを比較し、各術式での優位点・マイナス点を検討します。		
10. 個人情報の保護	患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、対象者のデータは削除いたします。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文として掲載済の場合、公表後の内容を修正することはできません。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	弘前大学大学医学部附属病院小児外科 平林 健		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080